

令和元年度事業報告

1. 総括的事項

我が国においては、高齢化の一層の進展や現役世代の急減という 2040 年問題の人口構造に対応し、成長力を確保するため、より多くの方が働く意欲や能力に応じて社会の担い手として、より長く活躍できる環境整備が必要で、従来の 65 歳までの雇用確保措置に加え、様々な就業や社会参加の形態も含めて、70 歳までの就業機会の確保を図り、その活躍を促進することとしています。シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供するなど、高齢者の就業を確保し「生涯現役社会」の実現を図るため、更なる会員拡大を目指し様々な取り組みを実施することといたしております。

事業運営にあたりましては、全国シルバー人材センターの掲げる「第二次会員 100 万人達成計画」（平成 30 年度から令和 6 年度までの 7 年間）及び当センター策定の「中期財政計画」（令和元年度から令和 5 年度までの 5 年間）に基づき、会員拡大、今後の安定した財政運営を重点課題として取り組んで参りました。

今後もシルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共同・共助」のもと、会員、役職員が一丸となって多様化する市民ニーズや社会経済の変化に的確に対応しながら、効率的な事業運営、財政基盤の確立に努め、更なる発展を図って参ります。

2. 個別事項

(1) 会員の拡大

シルバー人材センターの事業発展は、会員の増強と就業拡大にあります。このことから、今年度も引き続き大型量販店や各地域のふるさとまつりでのパンフレット・チラシの配布や市町広報紙への掲載、新聞折込み、各種講習会による PR 等を積極的に実施するとともに、北浦三市シルバー人材センター（萩広域・長門・美祢）共同事業による会員募集広告を行いました。

また、入会説明会は、毎月 1 回の定期開催に加え、各出張所において臨時入会説明会を開催し、健康で働く意欲のある高齢者の入会促進に努めました。

これらの取組の結果、令和元年度末会員数は 501 人（男性 353 人、女性 148 人）となり、前年度末と比較して 16 人の増加になりましたが、依然として女性会員の割合が低く前年度より 4 人減少しております。

(2) 事業実績

請負・委任による受注件数は 3,382 件で、前年度に比べ 264 件減少しましたが、契約金額は 2 億 1,046 万 6,593 円で前年度に比べ 359 万 3,044 円の増額になりました。

職種別の実績では、建物管理が 6,880 万 9,613 円で 703 万 9,634 円の増額、草刈り作業が 4,192 万 8,677 円で 261 万 8,128

円の増額、屋内清掃が2,143万274円で117万3,994円の増額、剪定作業が1,757万9,398円で281万1,451円の減額、草取り作業が907万3,952円で172万4,769円の減額になりました。

一方、契約金額の事務所別の内訳では、対前年比で 萩事務所 100.4% 阿武出張所 100.0% むつみ出張所 98.2% 須佐出張所 112.3% 田万川出張所 102.7%となり萩広域全体で101.7%となりました。

派遣事業は、22事業所へ82人の会員を派遣し、契約金額は5,337万5,022円で、前年度に比べ567万3,054円の増額になりました。

この結果、請負・委任事業と派遣事業の合計は2億6,384万1,615円で、前年度に比べ926万6,098円の増額になりました。

(3) 就業機会の開拓・拡大

シルバー人材センターの事業拡大のため、広く市民の方々に理解と協力を得られるよう普及啓発を推進するとともに、会員就業の実態及び意欲や希望を考慮しながら、就業機会の開拓・拡大を図りました。特に普及啓発については、市・町広報紙への掲載、パンフレット・チラシの配布や会員のボランティア活動を通じて、地域の皆さんにシルバー人材センター事業の理念や意義、仕組みを理解して頂くとともに、シルバー人材センターの知名度を高めるよう努めました。

(4) 安全就業の推進

安全就業の推進については、「安全はすべてに優先する」をモットーに安全就業基準の遵守、健康チェックの実施など日々の活動を通じ会員の安全就業意識を高め、組織が一体となって安全対策の推進を図り、傷害事故や損害賠償事故の撲滅を図ることが重要です。

本年度は、当センターの安全パトロールとは別に、安全委員長・副委員長・安全就業推進員で県連合会主催の他センターの安全パトロールへ参加、11月には当センターにおいて県連合会主催の安全パトロールが開催され、草刈、剪定作業に対する安全就業の指導点検を行うとともに、安全就業の周知徹底と意識の高揚を図りました。

また、主に派遣運転業務就業会員を対象とし、シルバー安全運転コンテスト(2回 会員11人)交通安全定期診断(1回 会員8人)シニア活き活き診断教室(1回 会員12人)シニアオータムスクール(1回 職員1人)を受講し、交通安全に対する意識の高揚に取り組みました。

本年度は、傷害事故3件、損害賠償事故5件、派遣業務事故1件、計9件事故が発生しております。

令和2年度は、事故ゼロを目指し会員の皆様と共に安全就業に努めていきます。

(5) 適正就業の推進

適正就業・就業拡大委員会（委員12名）を開催し、仕事の配分調整等を行いました。また、継続就業の長期就業の是正を図るため「適正就業に関する運用基準」に基づき、就業機会の公平化を図りました。

(6) 講習会の開催

事業の普及啓発・会員の増強対策・会員の技術、技能の向上を図り、県連合会の主催の高齢者活躍人材確保育成事業では、椅子ヨガ教室、整理収納セミナー、ガーデニング講習会、刈払機取扱講習会、剪定講習会を開催しました。

また、女性会員の増強と会員の福利厚生を図るために、萩市・阿武町在住の60歳以上の方を対象にした「福祉・家事援助講習会（シニア生き生き教室）」をサンライフ萩と須佐公民館で開催しました。

講習会には136人が受講され、このうち7人が新規に入会されました。

(7) 労働者派遣事業の推進

働き方改革において、本年4月よりの改正労働派遣法施行に向けて、シルバー派遣事業においても「同一労働同一賃金」へ対応し、派遣先事業所への説明等の取り組みを進めていきました。

シルバー派遣事業衛生委員会では、衛生委員会4回、健康講習会1回開催し衛生委員会開催後毎回「衛生委員会通信」を発行するなど、派遣労働者の健康管理を図ることとしました。

今年度の派遣労働者教育訓練は、県連合会主催による労働法関係講座が開催され、17人が受講しました。